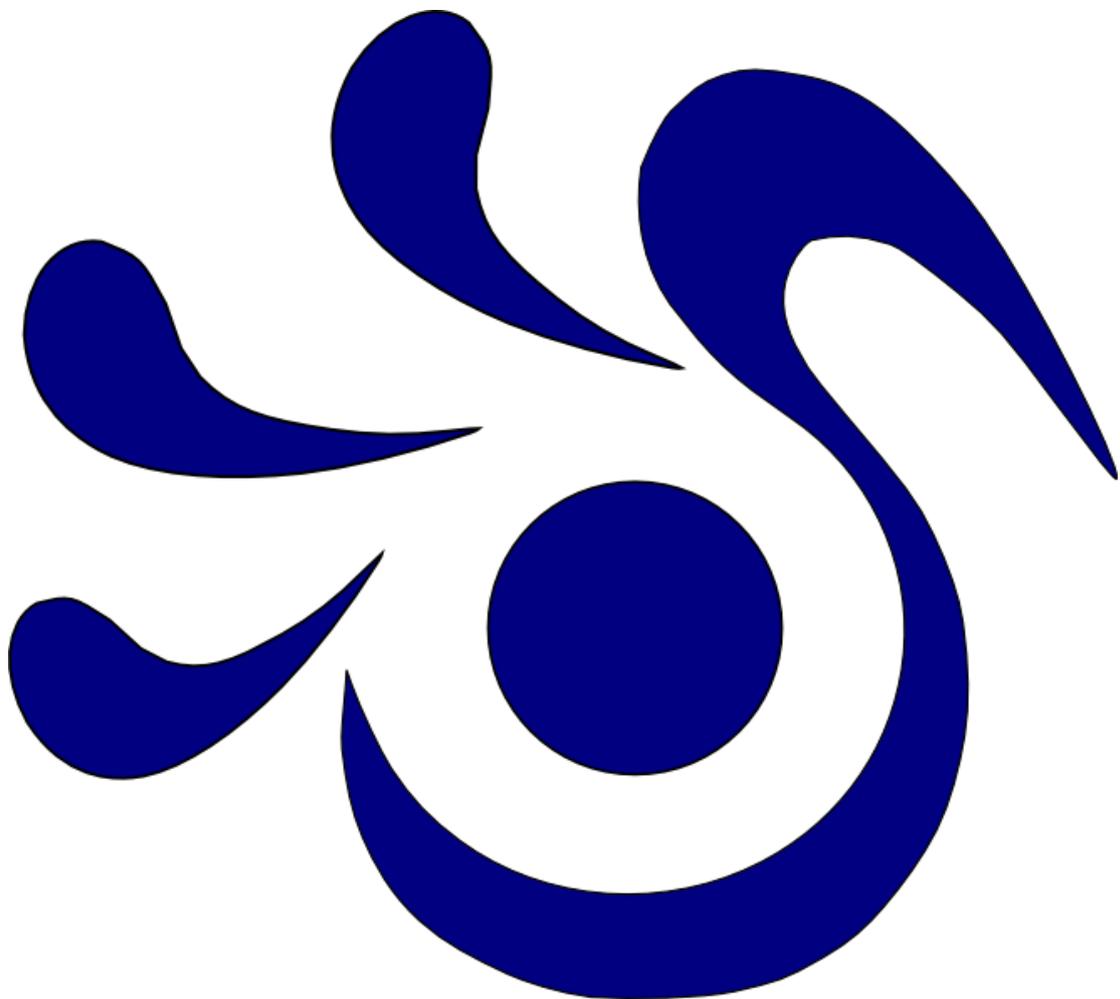


mizuma

河泉会 広報誌

第 29 号 / 2018 年 1 月



KASENKAI

発行：河泉会（大阪河崎リハビリテーション大学同窓会）

巻頭言



『リハビリマインド』

医療法人大植会 葛城病院

河泉会会長 松田洋平

河泉会会員の皆様にはいよいよご清栄、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

少子高齢化、地球環境問題、財政難などわが国が直面する社会課題は明確であり、これらの社会課題をビッグデータ、人工知能（AI）、モノのインターネット（IoT）、ロボットに代表される技術革新で解決するという動きも、すでに官民で活発化しています。それでいて将来への安心感は一向に高まらない。医療技術の進化や社会保障の充実で、寿命が延びながら社会保障費が増大し財政も悪化、ネット通販で利便性が向上するも物流問題が拡大している。課題が一つ改善される一方でほかの課題が浮上するといった、もぐらたたきのような状況が続いている。

翻ってリハビリの世界をみると、障害をもつ患者の心を安易に考えすぎていないか、と心配になる。「障害受容」という言葉が決裁の印鑑のように使われていないか、期待通りの治療はできていないという謙虚さを忘れ、パターンリズムに陥ってはいないか、などと自問する。断定的なキャッチフレーズで広められるスローガンリハビリは、大変危険だと思う。もっと患者の話に傾聴し、立ち止まり、一緒に考えるべきではないか。「また歩けますよ」の一言によってその後のリハビリで希望を持ち続けられることの重みを自覚すべきではないか、と思う。

リハビリ医療における「普遍的なもの」とは何であろうか？機能評価、脳科学の臨床応用、運動学習、ロボットリハビリなどの多様な研究に取り組んでいるが、実はその根底にある普遍的概念は『リハビリマインド』である。ADLは重要だが、一因子にすぎない。リハビリマインドに基づいた治療に、スローガンは要らない。QOLはリハビリマインドのコアであり、リハビリマインドを身に付けることによって、残された生のQOLを最大限にする方法を患者とともに考えることができる。「できること」を「できるように」したうえで、「できないこと」について「なぜできないのか」を客観的に論理的に理解して、福祉機器の利用、人的介助、福祉サービスの利用などにより、生活ができるように支援することが大事である。リハビリテーションは、本人や家族が新しい生活スタイルを身につける過程である。そのプロセスに主体的に取り組むのは当事者とその家族である。リハビリテーション専門職は、コーチまたはトレーナーまたは adviser または supervisor である。当事者が意欲を持ってリハビリテートするように働きかけることが我々の仕事である。

リハビリテーション専門職において学生教育と同時に重要な課題は、リハビリマインドをもつ後輩の育成である。何よりも患者とともにQOLを考えながら、リハビリ専門職が多様な価値観を認め、共に成長することが重要である。リハビリマインドをもつ専門職をリハビリマインドによって育てることがますます大切な時代になった。

同窓会とはいわば家族のようなものだと思います。河泉会の活動に多くの若い先生方にもご参加いただき、20年つづくリハビリマインド・河崎イズムを享受し、継承するよう諸先輩との交流を深めてはいるかがでしょうか。

スキルアップ・スキンシップ講座 感想

2017年6月17日(日)に堺市立重症心身障害者(児)支援センター『ベルデさかい』岸本眞先生をお招きし、『理学療法士のための臨床実践〜身体操作論の基礎〜』をテーマに、スキルアップ・スキンシップ講座を開催致しました。今回は山内先生から感想を頂きましたので紹介致します。

社会医療法人三和会 永山病院 山内翔太(理学療法学専攻大学7期生)

私自身今年度より理学療法士となり、実際の患者様に触れる機会が増えました。学生時代とは異なり、より多くの患者様に触れる中で「どのように関節を動かせばいいのか」、「どの方向に誘導すればいいのか」など考える機会が増えました。そんな中、岸本先生の勉強会があると知り、少しく悩んでいることや疑問に思っていることが解消できればと参加しました。勉強会では、座学と実技の両方ともあり、座学の中で触診を行う上で重要となる骨指標やMRIからどの関節や筋肉であるかなどどのようにして推測していくかなどの講義がありました。実技では、目をつぶり下肢長の計測を行うことや、実際に身体をどのように動かしていくかなどの実演がありました。実技の中で私は、実際にセラピストの加えた力が生体にどのように届いているのか、ベクトルやモーメントを考えながら患者様にリハビリを実施しているのか考えさせられました。ただ単に身体に力を加えるのではなく、骨に向けて力を加えることによりしっかりと反力を感じられ、誘導したい方向に適切に誘導が出来ることを知りました。これは、実際の現場でも考えながらしっかりと患者様にアプローチしていければと思います。

最後にこの講義を受け2つのことを思いました。一つ目は「触れる」ことからしか得られない生体情報を熟知して「自分の手」を信頼して身体操作を行っていくこと。二つ目は目の前に痛みや不都合を感じつつ「生きてそこにいる」対象者にこそ答えを出せるように、しっかりと理解をした基礎医学を身に付けたいと思いました。



泉華祭 感想

2017年9月23日(土)、泉華祭を開催いたしました。今回は山崎先生から感想を頂きましたので紹介致します。医療法人大植会 葛城病院 山崎 詩織(理学療法学専攻大学6期生)。

野上病院 本田竜平(理学療法学専攻大学8期生)

この度平成29年9月23日に開催された泉華祭に大阪河崎リハビリテーション大学の卒業生として有志で参加させていただきました。河泉会のブースでBBQと駄菓子詰め放題の模擬店のお手伝いをさせていただきました。当日は模擬店を行うことでいっぱいになり校内の催し物などを回ることはできませんでしたが、模擬店の販売をしていく中で在学生や一般来場者の方々と関わりを持つことができ、有意義な時間を過ごすことができました。在学中では、あまり一般の来場者と学校との関わりに視点が向いていませんでしたが、河泉会の一員として参加すると学校の関係者以外とも繋がり強い校風が見えてき

ました。学校を卒業してから河泉会の活動内容を知りましたが、スキルアップセミナー等の勉強面の活動だけでなく、在学生や学校の先生方との交流を持つ機会もあることを知りました。今後は自身のスキルアップだけでなく、河泉会の活動を通して在学生との関わりにも参加させていただきたいと感じました。ありがとうございました。



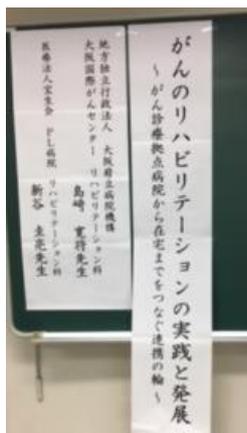
特別講演会 感想

2017年10月15日(日)に大阪国際がんセンターの島崎寛将先生をお招きし、『がんのリハビリテーションの実践と発展 ～がん診療拠点病院から在宅までをつなぐ連携の輪～』をテーマに、特別講演会を開催致しました。今回は西前先生から感想を頂きましたので紹介致します。

野崎徳洲会病院 西前 拓馬 (理学療法学専攻 大学5期生)

今回、特別講演会「がんのリハビリテーションの実践と発展」に参加させて頂きました。

がんリハビリテーションで求められるのがんの病態、手術や放射線、化学療法による有害反応や骨転移のリスク、浮腫などの知識に加え、普段臨床で診ているような整形疾患、中枢神経、呼吸、循環器など一般的な理学療法の知識を役立てて動作指導、訓練を展開していくこと、また人として自分の思い描く生活が送れるように支援していくことが大切であると学びました。研究では、約半数の方が精神疾患を発症し、複数の精神症状、身体症状を抱えて生活をしていることが報告されていました。私自身、臨床では運動機能やADLに関する評価、アプローチが中心であり、気持ちや心に対する評価、アプローチというのは実践できていないことに気づきました。今後はより理学療法の専門性を高めることと、がんサバイバーの多様性を考えながらリハビリテーションを実施していこうと感じました。実技ではリンパ浮腫、終末期浮腫に対する圧迫療法を病期や症状、訴えに合わせて包帯の種類、巻く強さを調整していくことを症例も交えてわかりやすく教えて頂きました。講演会の休み時間では講師の先生が参加者に、普段の臨床の疑問や難渋している症例などを気さくに伺ってくださり、より理解が深まることができました。河泉会ならではの充実した講演会でした。貴重なご講演をありがとうございました。



大寒の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。来たる3月17日(日)11時00分より河泉会総会が行われます。ご多忙中のところ恐縮ですが、ぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

議案は下記に記載させていただいております。会員の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

2017年1月

河泉会平成29年度総会議題

I、平成29年度活動報告

1、講演会

特別講演会

「訪問リハビリテーションにおけるリスク管理について」

日時:平成29年10月15日(日) 10:00～16:00

講師:島崎 寛将氏 大阪国際がんセンター 作業療法士

新谷 圭亮氏 PL病院 理学療法士

参加人数:20名

2、機関紙

28号:7月中旬発送

29号:1月末発送

3、理事会

4月、6月、8月、10月、12月、2月(予定) に理事会開催(年6回開催)。

4、泉華祭

日時:平成29年9月23日(土)

焼肉販売、OB・OGによるなんでも相談室

5、スキルアップ講座

1)「療法士のための臨床実践」

講師:岸本 眞氏 堺市立重症心身障害者(児)支援センター「ベルデさかい」 理学療法士

日時:平成29年6月17日(土) 13:30～17:30

参加人数:31名

2)「嚥下障害患者の評価と治療」(予定)

講師:永来 努氏 株式会社コンパス 言語聴覚士

日時:平成30年3月17日(土) 13:00～16:00

講演会、スキルアップ講座についての詳細は機関誌「MIZUMA」以外にも以下のSNSにも掲載しております。

大学HP <http://www.kawasakigakuen.ac.jp/graduate/>

河泉会ブログ <http://41413452.at.webry.info/> 河泉会会長ブログ <http://ameblo.jp/kawasaki-ob-pt/>

II、平成29年度会計報告

詳細は総会にてご報告いたします。

Ⅲ、平成 30 年度年間活動予定・予算案

- 7 月 機関紙発送
- 9 月 泉華祭:日程・内容検討中
- 10 月 講演会:日程・内容検討中
- 1 月 機関誌発送
- 3 月 スキルアップ・スキンシップ講座:日程・内容検討中
- 3 月 総会:日程検討中

〈平成 30 年度予算案〉

項 目		予算額	決算額	比較増減
1. 管理費	各委員雑費	110,000		
2. 機関紙代	機関紙代	180,000		
3. 講演会費	講師代	130,000		
4. スキルアップ講座	講師代	130,000		
5. 泉華祭	泉華祭ブース代	30,000		
合 計		580,000	0	580,000

Ⅳ、河泉会規約の変更

総会にてご審議をお願い致します。

河泉会 理事会 議事録

平成 28 年 8 月

- 秋の特別講演会について
 - ・日時、講師、内容の決定
- 泉華祭について
 - ・内容の決定
- 機関紙について
- スキルアップ・スキンシップ講座について
 - ・講師、内容の検討

平成 28 年 10 月

- 秋の特別講演会について
 - ・積極的に広報をしていく
 - ・各委員の役割確認
- 次年度活動予定について
 - ・次年度のイベント内容の検討
- 機関紙について
 - ・掲載内容、記事締め切りの確認
- スキルアップ・スキンシップ講座について
 - ・講師、内容の検討

平成 28 年 12 月

- 機関紙について
 - ・掲載内容、進捗状況の確認
- 総会について
 - ・日時は、平成 29 年 3 月 17 日(土)11 時 00 分～決定
 - ・総会議題について確認
- スキルアップ・スキンシップ講座について
 - ・日時の決定。
 - ・機関紙にて広報開始
- 次年度活動予定について
 - ・次年度のイベント内容の検討
- 機関紙について
 - ・掲載内容、記事締め切りの確認

河泉会の皆様へ

河泉会では年2回（1月・7月）広報誌を発行しています。広報誌に掲載する記事を会員の皆様から受け付けています。内容・字数には制限はありませんが、主に下記の内容を考えています。河泉会活動の活性化のためにも振るって投稿して下さい。

・学術的な内容 ・紀行文 ・河泉会活動に対する提言または意見 ・勉強会案内 ・医療に関するトピックス

《 連絡先 》

福本 竜太郎（医療法人大植会 葛城病院 リハビリテーション部 理学療法課）

原稿の送信方法は福本まで直接メールでお願いします

連絡先：simpledeiika@gmail.com

河泉会ブログ案内

勉強会の案内や卒業生が企画する勉強会・定期的な理事会などブログでも更新していきたいと思えます。

<http://ur0.biz/Fn3F>

河泉会 ウェブリブログ ×

携帯電話では右のQRコードも使用可能です。



その他広報媒体

HPについて

開設:5月10日に開設済み

URL:<https://kasenkaiobog.wixsite.com/dousoukai>

会長ブログ(ameba ブログ)

http://ameblo.jp/kawasaki-ob-pt/?frm_id=v.mypage-ameblo--myblog--blog

Facebook 河泉会

<https://www.facebook.com/%E6%B2%B3%E6%B3%89%E4%BC%9A-175608382870613/>



住所・勤務先 変更された方へ

住所・勤務先変更されましたら、郵送物の宛先変更の手続きが必要のため、異動届けを提出して頂く必要があります。下記の方法で御連絡ください。

- ①大学ホームページへ移動
- ②ホームページ右上『卒業生の方へ』をクリック
- ③『卒業生の方へ』のページ下にある『同窓会「河泉会」』をクリック
- ④『入会届および住所変更など異動届のお願い』に記載されている方法をご参照の上、メールアドレスまでご連絡ください。

編集委員

新立 勇一（理学療法学科9期卒）	本道 大地（理学療法学専攻2期卒）
鶴井 明弘（理学療法学専攻4期卒）	福本 竜太郎（理学療法学専攻4期卒）
竹林 弘平（作業療法学専攻2期卒）	林 晃奈（言語聴覚学専攻4期卒）

発行責任者

河泉会会長：松田 洋平
（理学療法学科1期卒）

大阪河崎リハビリテーション大学は、今年度、財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審しました。評価結果はまだ出ていませんが、今後も教育研究水準の向上に努めてまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

さて、日本園芸療法学会主催の第11回日本園芸療法学会大阪大会を2018年11月24日（土）・25日（日）に本学で開催することになりました。

是非ともこの機会にご参加いただけましたら幸いです。

また、皆さまご存じのとおり「2018年度問題」と騒がれていますように、2018年度を契機に今後10年間で10万人以上の高等学校卒業者が減少することが見込まれています。母校の更なる発展のため、入学者の増加にも皆さま方にお力添えいただければ幸いです。

さらに今後、本学学生が皆さまにお世話になることが多々あるかと存じます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



Rehabilitation ≡ Rebirth

「Re」でつながる私たちの想い

ふたたび社会へ、あらたな人生を…
そんな想いで頑張る人も、
それを頑張って支える人も、
私たちは大切にしたいと思えます

大阪河崎リハビリテーション大学

●理学療法学専攻 ●作業療法学専攻 ●言語聴覚学専攻

〒597-0104 大阪府貝塚市水間158番地 Tel.072-446-6700

U R L : <https://www.kawasakigakuen.ac.jp/>

～FACEBOOK更新中～

大学でおこなわれる勉強会等のイベントを随時アップしています。この機会に是非ご登録をお願いいたします。

→→→

